あの人と学校の

定形外便り Vol.3

「本を大切にする人と図書室」

文：川根高校魅力化コーディネーター
(地域おこし協力隊)
伊神花織

全国的に、朝の活動で「読み聞かせ」をしている学校は多くありますが、多くは保護者が中心となって行っています。本町では、昔から地域の方がボランティアとして行っていることを聞き、その話を伺いました。

川根高校を中心に、学校での取り組みを魅力化コーディネーターの立場から、地域の方などへのインタビューを交えて紹介します。

今回は、絵本がいっぱいの木村愛子さん（千頭）のご自宅でお話を伺いました。絵本が大好きだという木村さんは、絵本の素晴らしさを伝えたいと思い、学校で読み聞かせ活動を始めたそうです。

話を伺って印象的だったことは、読み聞かせが終わった後、子どもたちに感想をあえて聞かないということです。木村さんは「子どもたちには、本の世界に浸っていて欲しい。どうだった?と聞くと、現実に戻ってしまう。自由に感じて欲しい。その時、知らないことがあったとしても、いつか思い出して分かることもあると思うんです」と素敵な笑顔で話してくださいました。

私も、絵本を読んでいただきましたが、とても表現豊かで、楽しい時間を過ごすことができました。

現在、木村さんは本川根小学校と本川根中学校で活動されています。

子どもたちに伝える思いの詰まったストーリー

「読み聞かせのおばちゃん」と声をかけられうれしい、と話す木村さん

町内のすべての小・中学校では、図書室が子どもたちにとって、もっと楽しい空間となるよう、図書館アドバイザーの方が三年前から様々な活動をされています。本川根小学校の図書室を見せてもらいましたが、本の並べ方や掲示物など、工夫を凝らした素敵な空間が！私自身、図書カードは一枚では足りないくらい図書室に通っていましたから、うらやましい！

一人一台のタブレットと、紙の本に触れる機会、両方があるということは、きっと両方の良さを感じられると思います。

リラックスして本を読める図書室づくりの裏側には、図書館アドバイザーの方の、愛情があふれていました。

素敵な図書室にはわくわくが詰まっています

かわいいポップでいっぱいの本川根小学校の図書室

伊神花織（いがみ かおり）

愛知県出身。広告代理店の営業を経て、教育コーディネーターとして大阪・東京で小中学校のキャリア教育に従事。高校教育に関わりたいと思い、魅力化コーディネーターを志望して本町へ。
本町にはバイクツーリングで訪れており、景色の美しさや町の方々の優しさに触れる機会が多くあり、以前から好きな場所でした！

川根高校のフェイスブックページ

伊神さんが更新
川高生の様子から授業での豆知識まで発信

発行：川根本町　編集：情報政策課 情報政策室　☎0547(56)2232
住所：〒428-0313 静岡県榛原郡川根本町上長尾627
広報かわねほんちょうは、再生紙を使用しています。

広報かわねほんちょうでは、おたよりなどお待ちしています。町に関すること、広報に関すること、何でも気軽にお寄せください。
FAX(56)2235 役場情報政策課情報政策室までどうぞ

UD FONT by MORISAWA